

名経大通信

第8号

2004年1月1日

名古屋経済大学

<http://www.nagoya-ku.ac.jp/>

CONTENTS

- P1 Message
末岡学長の新春メッセージ
- P2 Top News
大学歌を制定
- P3.4 Spring
学生たちの青春エッセイ
「Gift」外国人児童に教える
- P5.6 知っていますか、「会計特別研究室」
- P7 Local
図書館と地域の人たち
- P8 Global タンラ
韓国・耽羅大学と学術協定
TOEICに59人受験
カンボジアだより
- P9 People
卒業生こんにちは 梅村鶴実さん
- P10 Books & Author
「財閥と帝国主義」
「イギリス・ロマン派とフランス革命」



新しい時代に相応しい大学づくり

学長 末岡 熙章 すえおか ひろあき



新年明けましておめでとございます。新しい年を迎え、皆様とともに心新たに、名古屋経済大学の発展に向かって努力して参りたいと思っております。

昨年は、わが国も世界もまさしく混沌の時代といった感じでありました。昨年来の日本の政治経済の紛然状況は、はたして新年に向けてどのように収束し、改革されるのでしょうか。国際情勢も許されざる無差別テロですが、イラク問題などをめぐっても今年も世界は混乱を続けるのでありましようか。

「大学改革元年」

さて、わが国の経済情勢の変化も作用して、日本中で「改革」が叫ばれているとき、大学においてもそれにふさわしい大学像を見出す必要性が論じられ、大学のみが安閑としてはおれなくなり

ました。十八歳人口の激減をきっかけとして、わが国の大学は国公立を問わずこの十数年間改革の叫び声で溢れております。これまでに中教審、大学審、教養審な

どから実に多くの答申が出されました。具体的に挙げれば国立大学の法人化、私立学校法の改正を含む学校教育法の改正、第三者評価の義務化、学校法人制度の改善（ガバナンス機能の強化）、教育分野への株式会社参入問題等々、まさに今年は大学改革元年とも言つべき年であります。

これまでの大学改革のキーワードは「個性化・多様化・高度化」であると言われてきました。高度化とは大学院教育を重視すること、個性化というのはそれぞれの大学が個性を発揮していくこと。その結果として多様化が進んでいくことでありましよう。その中で私立大学の個性は何かといえますと、それは何よりも教育であり、人間形成であります。すなわちそれは私学がそれぞれに持つ建学の精神そのものにあるのではないかと思えます。

人物の育成急務

本学の創立者市邨芳樹先生は、建学の理念を「一に人物、二に伎倆」と掲げ、現代日本においては人格ある人物の育成が急務であること、すなわち人とは円満な人格、常識を持つ、しかも社会人生において真つ当な理解と同情心を備えた徳の人であるべきことを教育の基本とされました。

現代社会は科学技術の発達によって、数多くの「頭の人」「手の人」を輩出してきましたが、その反面「情けの人」「徳の人」の育成を置き去りにしてしまったように思われなりません。本学では今後も、市邨精神を継

承し大学教育を通じて、これらの人物教育を展開して行く中で、学生諸君が一人ひとり自らが考え、判断し、進んで意見を表明できる能力と、二十一世紀に活躍できる人間形成に努めてまいりたいと考えます。

「大学冬の時代」「氷河期」と言われて久しく、私立大学を取り巻く環境はますます厳しくなりました。十八歳人口は百四十六万人余にまで落ち込み、定員に満たない私立大学が一昨年来三割を前後し、二〇〇九年度と予測する全入時代に向けて、この傾向はさらに加速するであろうと文部科学省は分析しております。

若者に魅力ある大学に

いま大学に課せられた課題は、学生と父母の満足度を高めることが不可欠であると同時に、言い換えれば受験生と家族を含む社会のニーズに私立大学がどれだけ応え得るか、しかもその社会のニーズはどんどん変化していきますので、それに対応するために大学はさらに一層、絶えざる自己改革を推進することが求められております。

大学の使命は申すまでもなく、「教育」と「研究」であることには変わりありません。本学は、今年も全人教育の推進と学部、学科の確かな専門教育と教養教育と、何らかの道徳教育の重要性を認識し、建学の精神の具現化を図りつつ社会のニーズに応え、現代の若者達の感性や気質にあった魅力ある、勝ち残る大学作りに取り組んで参ります。

名古屋経済大学歌を制定



待たれていた「名古屋経済大学歌」ができあがり、平成十五年九月十七日制定されました。

作詞は岡野弘彦氏（歌人、和辻哲郎文化賞受賞）。作曲は岡坂慶紀氏（愛知県立芸術大学教授、文化庁芸術祭優秀賞受賞）です。

岡野氏は宮中の「新年歌会始め」の詠進歌の選者としても知られています。末岡学長からの依頼に快く引き受けてくださり、地域に密着した情景を書きこんでいただきました。

岡坂氏は「学歌（校歌）」というのは難しいもので、あまり古臭くてはいけないし、かといって新しい曲調は多種多様な上に、好みも人によって違います。なるべく多くの人たち

の気に入っていたただけるように、と大変苦労しました」と感想を述べておられます。

この大学歌はコミュニケーションプラザで昼食時間に流れています。ゼミの先生に求めればCDで聴かせてくれるでしょう。歌詞とメロディになじんでください。

なお、併設の市邨高校・市邨中学・高蔵高校・高蔵中学には明治以来の親しまれた校歌がありました。大学歌制定を機に歌詞を一部変え、これを市邨学園全体の学歌として歌うことになりました。



めいけい点描

S N T

大学の坂をストーンと下りると三明神社があり、もう少し歩くと、いかにも古い石碑が立っています。刻まれているのは「征露記念」の文字です。

日本と帝政ロシアの日露戦争は一九〇四〜〇五年。その勝利

を祝う鳥居や石碑が国内至る所に建立されました。すぐ近くで見かけるのはその一つです。

戦勝気分のためきらぬ一九〇七年、名古屋女子商業学校が開校します。前髪をふくらませた洋髪、いわゆるハイカラさんが女学生、インテリ女性の間で大流行したことです。西洋化、消費文化の進展に伴う女子の社会教育・職業教育の広がりとともに、市邨学園は名

小木教授が愛知県表彰 県民の消費者保護に貢献



小木紀之経
济学部教授
（消費者政策）
は愛知県表彰

条例に基づく「社会活動功労者」として昨年十一月表彰されました。

同教授は長年、県消費生活審議会長として活躍。消費者行政に貴重な提言を行い県民の消費生活の安定向上に尽力し、消費者保護の推進に貢献。それらの功績が顕著であると認められました。

小木教授は平成十一年には経済企画庁長官表彰を受けています。

声を高めました。

これが名古屋経済大学の母体であり、大学の開学からでも四半世紀を経ています。「戦勝百年」はどうでもいいけれど、わが「創立百年」は二年後に近づいており、大学歌の制定はその序奏のように聞こえます。

自らの青春を塗りこめる記念碑として、へたでもいい、気力をこめてうたいませんか。

中国の正月、日本の正月

経済学部四年 李 傑
(中国・上海出身)



私は日本で五回目のお正月を迎えました。中国と日本は文化や生活風俗などが似ているところも多いです。正月について違っていると感じたことを紹介したいと思います。

中国の正月は大晦日から三日間だけではない。旧暦十二月二十九日から翌年の一月十五日までが正月と呼ばれます。大晦日の夜十二時になると、いっせいに爆竹を鳴らす。どこの家でも、

街中でも、バリバリバリッと音が響き渡る。正月の朝はどんな細い路地裏にも爆竹の赤いごみが山になっている。このごみが多いほど、お金持ちだって考えがあるみたい。危ないからって大都市では規制するけど、やっぱり正月は爆竹でした。

正月の食事は地方により違う。北方(例えば北京)ではもちろん餃子だ。焼く餃子でなく、煮る餃子だ。形状がお金(元宝)によく似ているところから財産作りの意味もあった。南方(私の出身地の上海など)では年糕(ニエンガ

オ)という餅だ。「ガオ」は中国語では「高」と同じ発音なので、年の豊かなことと向上につながる意味から食べられると言われている。日本では正月を迎える前に女たちが目の回るように忙しくなるが、中国では料理を用意する仕事を男たちも分担します。

現在、私のコンビニのアルバイトは夜十時から明け方までです。元日の朝仕事が終わって、下宿に帰る時、このスーパーム休店日のため、食べるものも買えない。街中もひっそりとして寂しいことです。昨年正月の二日、ゼミの光岡朗先生のお宅に招かれ、家の方と一緒にお酒、雑煮などをこ馳走になりました。初めて日本の家庭でお

正月を味わいました。その時、光岡先生と熱田神宮にお参りしました。上海で一年半、日本語の勉強をしてきました。自動車短大を卒業後、名古屋経済大学に編入しました。三月、卒業と同時に帰国します。私は一人っ子ですが、母を癌で亡くしました。残されたおじいさん、おばあさんはともに体が不自由なため、そばにいてあげたいのです。上海には多くの日本企業が進出しており、合弁会社への就職は大丈夫だと思います。

李君の正月風景を読み、話題の中国映画「再見(ツァイ・ツェン)」の冒頭シーンが浮かびました。(中)

一人暮らし、有情友情

短期大学部保育科一年 山本 徹
(鳥取県八頭郡出身)



私は名古屋経済大学短期大学部の保育科に、平成十五年四月に入学し、私の夢である保育者になるため日々勉強に励んでいます。

私の実家は、愛知県から遠く離れた鳥取県です。こんなに遠い愛知県の大学を選んだ大きな理由は「一人暮らし」をしてみたかったことです。親元を離れて自身の力でやってみたいという思いは高校の時からずっとありました。

しかし、その考えはあまく、現実の生活は自分が想像していたものとはほ

ど遠いものでした。朝から自分でご飯を作り、学校から帰ってきてもご飯を自分で作り、何から何まで自分自身でやるのがどれだけ大変か本当に分かりました。こうした生活は、私にいろんな思いを気づかせてくれました。まず、親や家族に対しての感謝の思いです。これほど強く思ったことはありませんでした。

もう一つは、友達の大切さです。こちらへ来た当初は、自分は県外だし、友達を作ることは難しいと思っていました。だから、あまり自分が鳥取県出身だということをお口に話さなくて、積極的に喋

ることができませんでした。けれども、周りのみんなから私に喋りかけてくれ、それを機会に自分から話しかけられるようになっていきました。

今では本当に大切な友達が増えました。学校ではいつも一緒にいるから、この人がどんな人かが分かってきたし、自分自身のことも分かってもらっていると思っています。何かあれば相談したり、逆に相談に乗ってあげることもあります。振り返れば、最初のうち自分自身が内気だったのが恥ずかしく思えてきます。これからもこの大切な友達と大学生生活を過ごしていきたいと思えます。

就職では、やはり出身地の幼稚園か保育所に勤めたいと思っています。こちらの生活や環境は嫌いではないけれ

ど、やはり小さい頃から慣れ親しんだ地元の方が落ち着く面があるので、元の幼稚園、保育所をめざして頑張りたいと思います。これからも、ピアノや実習などやるべきことがたくさんあります。親、家族への感謝の気持ちを胸にして、一日一日を大切に、自分自身が後悔することがないようにしていきたいです。

保育者の仕事の夢をかなえ、今まで親に苦労をかけてきた分しっかりと親孝行できるように頑張っていきたいと思えます。

「ふるさととは遠きにありて思ふもの、そして……」。白秋? 犀星? だれの詩でしたっけ? (中)

教える楽しさを知る

法学部三年 久保田 智之
(静岡県浜松市出身)



「将来は教育職をめざす」。どのよう
に目指していく
のかという計画も、
それがどんなに難

しいことであるのかもよく理解せず、
ただ漠然とした目標を思い描いたのは、
私が大学へ入学して初めて開かれた教
育ガイダンスの時でした。

そもそも、私が名古屋経済大学へ入
学したのも、「法律を勉強してみたい」
という思いからであり、教職を目指す
ことなどは全く考えていなかったし、

大学入学以前も、そのようなことを考
えたことはありませんでした。そのた
め、「教職を目指したい」と家族や友人
たちに話した時はとても驚かれ、その
たびに「教職は狭き門」であるとか、
「普通の仕事より大変」であるとか反
応は厳しいものでした。

しかし私は教職を「やり甲斐のある
仕事」であると思いい、三年次まで成績
を落とさずに進級し、その間少しづつ
ではありましたが、勉強も続けてきま
した。また、教育実習が近づくと教職
関係の授業で模擬授業を行うようにな

り、人にものを教える楽しさを知り自
信ができました。

三年次になると、中学校の教育実習が
始まり、私は母校の中学校で二週間の実
習を受けることになりました。実習最初
の時期は失敗の連続で勝手も分からず、
満足に生徒たちと話すことすらできませ
んでしたし、授業実習の方でも時間とお
り終わらせることもできませんでした。

しかし、努力し続けることで次第に
生徒たちとも仲良くなり、また、時間
をかけてじっくりと教材を研究するこ
とによって授業も納得のできる結果を
残すことができました。

この教育実習は私にとって教育の場
でのノウハウだけでなく、人の前に立

つて授業を行う自信となり、何として
も教職に就きたいという気持ちが確固
たるものになりました。

今年の六月には高等学校の教育実習が
あります。きっと、そこでも多くの困
難、難問が待ち受けているとは思いますが、
それは私にとって新たな経験と自
信、そして教育職への気持ちを強くさせ
てくれるものと思い、今からとても楽し
みにしています。今は、採用試験合格の
ための勉強と、実習に備えた教科の予習
を続けています。

たまたまですが、高等学校で教えて
いる本学の先輩の寄稿文を9ページに
掲載しています。(中)

外国人児童に教えています サークル「Giffet」

本学の課外活動、ボランティアサー
クル「Giffet(ギフト)」が発足し
て間もなく一年です。部員はまだ数人
ですが、地域の子ども行事などに参加
し、活気づけています。中でも特筆で
きる活動は、毎週、小学校に出かけ、
海外から来た児童たちに日本語の勉強

を手伝っていることです。

Giffetは花城可光君(法学部二年)
が平成十五年四月に立ち上げました。
そのころ、小牧市一色小学校から本学
に「ボランティアの派遣をお願いでき
ないか」と相談を持ちこまれました。

一色小学校では外国籍の児童が年々



花城可光(沖縄県沖縄市出身)

ぼくが一色小学校に行き出して半
年過ぎましたが、日本語がだめだっ
た外国の子どもたちもすらすら話せ
るようになっていきます。頭が柔軟で、
すごいなと感じます。どの国の子
も同じだと観察しています

増え、現在は四十五人と全児童の二割
に近い。しかも七カ国が入り混じり、
日本人の子どもについていけるように
と、学校では「コスモス教室」を設け、
正規の授業以外に日本語の基礎を身に
つけさせるよう努めています。

事情を知った花城君がすぐに応じて
出かけるようになり、あとから、岩瀬
圭介君(法学部二年)、田中裕輔君
(同)が加わりました。大学から歩い
て三十分ほどの小学校ですが、三人は
自分が受ける授業のない金曜日を選
び、このボランティアを続けています。

ある日の「コスモス教室」
二時限目。花城君が担当したのはパキ

スタン人の男子とフィリピン人の女子。
田中君が担当したのはペルー人とブラジ
ル人。いずれも三年生ですが、日によっ
て他の学年を担当することもあり、日
本語の学力レベルがばらばらなため教
える苦労とやり甲斐があるそうです。

三時限、四時限目。岩瀬君が加わり、
三人が分担して教えました。児童たち
は「にほんご、だいすき」というワー
クブックを肌身はなさないようにして
一つずつでも覚えようと目を輝やかせ
ています。

小学校の話では、コスモス教室のボ
ランティアは二十人いて、大半は主婦
の方々です。「学業やアルバイトの合
間に継続して来てくれる学生さんはあ
りがたい」と言っています。



デビュー、会計特別研究室



会計人への道ひろく

経営学部講師 中村壽男

平成十五年度より本学経営学部では、「名古屋経済大会計特別研究室」を設置しました。前号の

「名経大通信」で丸山経営学部長が説明していますが、会計領域における実務とアカデミズムを融合させた高度な専門教育機関です。より具体的には、税理士、公認会計士、国税専門官、企業や官庁の税務経理専門職といった修了後の職業領域を見据え、アカウンタント・職業会計人の育成を目的とした機関といえます。設置に至る背景と現況、目標をお知らせします。

会計人を育てる

ITの発展による電子化の波が押し寄せ、税務の世界でも名古屋国税局管内では全国に先がけ電子申告制度が本年よりスタートします。この電子申告の発展・浸透を条件に、政府税調答申「あるべき税制の構築に向けた基本方針」あ

るいは経済財政諮問会議「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2002」では、給与所得者

にまで申告納税を拡大しようとの動きもあります。ここに税務および会計市場の可能性をかいまみる事ができます。またたとえば、わが国ではトヨタ、スズキの申告漏れ、住友生命、東京海上の所得隠し、あるいは米国ではエンロン、ワールドコムなどの不正経理および粉飾決算が相次ぎ、コーポレートガバナンス強化による公認会計士の増員が検討され、アカウンタント・職業会計人の育成への要請はますます拡大しています。

全学年・学部を対象に

会計特別研究室には、原則として日本商工会議所簿記検定2級以上を取得している本学学生で、かつ、学部の講義はもちろんのこと、研究室の講義を真摯に取り組む学生であれば、学年・学部を問わず入室することができます。

現在、八名の研究生が在籍して

います。明確に税理士になりたいと希望する研究生もいれば、また、現時点ではおぼろげに会計関係の業務に携わりたいと考え、自らのスキルアップのため所属する研究生もいます。

また、本学大学院では会計学研究科および法学研究科が設置されているので、将来的には、この研究室での学習成果を基に、さらに大学院においてより高度の会計・税務の専門的知識を修得する道が開かれています。

足元を固める学習

税理士、会計士を目指すにしても、その他国税専門官などの専門職を志望するにしても、複式簿記の十分な理解なくしてはその夢を実現させることは困難です。そこで、税理士試験の簿記論に合格することを当面の目標として定め、その実現に向け二年半のプログラムを組みました。研究室設置初年度である今年度は、個別の会計事象の処理を中心に講義を展開しています。

研究生は複式簿記のベースは持ち合わせているとはいえず、外貨建会計、退職給付会計、税効果会計など初めて学習する項目にはかなり頭を悩ましているようです。長

丁場のチャレンジですので、モチベーションを絶やさず、しっかりと足元を固める学習に終始します。

全学生に希望と活力を

目標は極力明快であった方が意欲的になれることから、税理士試験の簿記論合格を掲げましたが、単に資格試験に合格すればよいという資格試験対策中心の偏重教育ではなく、会計デイスクロージャー制度の維持あるいは公平・公正な租税制度の確立といったアカウンタント・職業会計人としての社会的機能、すなわち職業倫理、職業観をともなった教育の充実を図りたいと考えています。

研究生が一生懸命学習に取り組む姿勢および研究生の学習成果により、他の多くの在学生を啓発し、彼らに希望と活力を与え、ひいては経営学部全体の活性化につながるような研究室であるべく、努力していきます。

近い将来、会計特別研究室を巣立ったアカウンタントから「先生、うちの会計事務所の新年会に顔を出してくださいよ」などとお誘いがかかることを夢みながら、研究生の指導にあたっていきます。

「親密」「充実した学習」

研究室一期生の 感想と意見

会計特別研究室に在籍し、ほぼ一年になる研究生らに次の三点について感想と意見を求めました。
研究室一年間を振り返って
将来の夢（職業観）
今春入室する二期生への助言

仲島 智（経営学部2年）

学部の講義と趣が異なり、その充実した学習ができました。就職課程も履修しており、将来は税

理士資格を持った教員となり、学生に教える立場になりたいと考えています。学習内容に不明な点があれば質問し、説明すること。担当教員もその点に十分答えてくれますよ。

岡庭 崇（経営学部1年）

前期は内容が難解であり戸惑っていたが、後期に入ってから徐々に慣れ、何とかやり遂げた。春期休暇中には今年度の復習をして地固めをしていきたい。まだまだ具体性はありますが、会計領域を中心に今後検討していきたいです。一緒に研究室で頑張りましょう。

福井 春菜（経営学部1年）

研究室は静かで、しっかり学習できる環境にあります。在室時間は有意義

に過ごせたと思います。

会計関連の職種に就きたいと考えています。

入室当初は難しいと感じるはずですが、頑張ってください。

百武 雅希奈（経営学部1年）

簿記の原理が今まで以上に深く学べ、先生方を困らぬでの懇親会や忘年会など、研究生同士の親睦を図る機会もあり楽しかった。

会計に携わる仕事に就きたいです。簿記論の学習はコツコツと頑張りましょう。

長谷川 たまき（経営学部1年）

担当教員の説明が理解しやすかった。春休み中にこれまでのおさらいをして

おきたい。

商業科の教員志望です。そのためには複式簿記の原理原則をしっかりと修得していく必要があります。

会計事象やその処理内容に不明な点がある場合には、必ず質問してください。担当教員がわかりやすく説明してくれますよ。

山口 芳枝（経営学部1年）

初めて目にする勘定科目や会計処理の内容を理解するのが大変でした。しかし、担当教員が丁寧に説明してくれ、また意欲ある仲間に出会えて有意義な一年でした。

税理士志望です。将来自分の事務所を開業できればいいな。欠席は控えましょう。

平成14年度決算報告

学校法人市邨学園の平成14年度決算書を下記の通り報告致します。

資金収支計算書は、年度中の諸活動に対するすべての収入及び支出の内容と年度中における支払資金のてん末を明らかにしています。

消費収支計算書は、年度中の消費収入と消費支出の内容を明らかにし、消費収支の均衡状態を表示しています。

貸借対照表は、財政状態を明らかにするために、年度末に保有するすべての資産、負債、基本金及び消費収支差額を表示しています。

少子化が進み、財政状況は年々厳しくなっています。今後より健全な財政基盤の安定化に努めてまいります。

平成14年度 資金収支計算書

平成14年4月1日から
平成15年3月31日まで (単位:千円)

資金収入の部		資金支出の部	
科目	決算額	科目	決算額
学生生徒等納付金収入	4,101,623	人件費支出	5,306,105
手数料収入	110,742	教育研究経費支出	787,875
寄付金収入	85,227	管理経費支出	306,191
補助金収入	1,272,602	借入金等返済支出	243,180
資産運用収入	41,360	施設関係支出	140,331
雑収入	405,418	設備関係支出	108,476
借入金等収入	236,251	資産運用支出	436,612
前受金収入	1,137,605	その他の支出	752,934
その他の収入	815,922	資金支出調整勘定	555,679
資金収入調整勘定	1,927,068	次年度繰越支払資金	11,763,647
前年度繰越支払資金	13,009,990		
資金収入の部 合計	19,289,672	資金支出の部 合計	19,289,672

平成14年度 消費収支計算書

平成14年4月1日から
平成15年3月31日まで (単位:千円)

消費収入の部		消費支出の部	
科目	決算額	科目	決算額
学生生徒等納付金	4,101,623	人件費	4,919,281
手数料	110,742	教育研究経費	1,420,676
寄付金	104,899	管理経費	362,288
補助金	1,272,602	資産処分差額	11,429
資産運用収入	41,360	徴収不能引当金繰入額等	792
雑収入	144,105		
帰属収入 合計	5,775,331		
基本金組入額 合計	197,620		
消費収入の部 合計	5,577,711	消費支出の部 合計	6,714,466
		当年度消費支出超過額	1,136,755
		前年度繰越消費収入超過額	5,402,494
		翌年度繰越消費収入超過額	4,265,739

平成14年度 貸借対照表

平成15年3月31日 (単位:千円)

資産の部		負債・基本金及び消費収支差額の部	
科目	金額	科目	決算額
固定資産	21,226,348	固定負債	4,322,567
有形固定資産	14,458,192	流動負債	2,117,168
その他の固定資産	6,768,156	基本金	22,976,925
流動資産	12,456,051	翌年度繰越消費収入超過額	4,265,739
資産の部合計	33,682,399	負債・基本金及び消費収支差額の部合計	33,682,399



図書館の住民利用 じわじわ増えています

名古屋経済大学の新図書館がこの春で五年目を迎えます。学生の学習、学識向上に寄与していることはもとより、一般開放に踏み切ったことで周辺地域の人たちの利用が順調に伸びています。

近年の生涯学習の普及とともに地域社会の大学図書館への期待が高まっています。本学の図書館は周辺の市や町を通じて、気軽に出入りされるよう、一般住民に呼びかけてきました。

開館後、約三年の利用状況を見ますと、学外の方の利用は向上きの傾向です。全体に占める学外の入館者数は年々二・四％ 四・五％ 七・二％と順調に伸びてい

図書館の学外者利用状況

	平成13年度	平成14年度	平成15年度
入館者数	1,221(2.4%)	1,841(4.5%)	1,972(7.0%)
貸出冊数	401(3.4%)	657(6.7%)	632(9.8%)

市町村別学外者利用者数

市町村	人数	市町村	人数
犬山市	65	江南市	4
小牧市	25	春日井市	3
大口町	10	扶桑町	2
各務原市	5	その他	8

計122名

稲沢市、日進市、刈谷市、豊山町、多治見市、可児市、関市、名古屋市各1名

(注)平成15年11月末日現在

ます。貸し出し冊数も三・四％六・七％一〇・四％の伸び方です。学生諸君よ、負けてはいけないよと、奮起を促したくなる状況です。

市町別の利用状況は犬山市が全体の半数を占め、小牧市、大口町、各務原市、江南市、春日井市、扶桑町、その他の順で、相当地な広がりを見せています。性別ではほぼ男性(平均四十五歳)七、女性三(平均三十六歳)の割合です。

昔から時代小説作家は執筆前に図書館によく通うといえます。豊富な資料を駆使する、あるいは事実関係を明確にするためです。一般の間にもその種の利用

が増えてきました。どなたでも利用されるよう、職員らは心待ちにしています。

本学の図書館によく通ってこられる小牧市の主婦、大内曜子さんに感想を書いていただきました。

図書館長から

地域住民への寄与という大学の理念の一つを実現する上で図書館開放は大いに意義があり、かなりの成果を挙げています。平日には午後八時までの開館サービスは他大学と比べてもひげをとらず、期待に十分応え得るものと思います。

(秋田暲正)

名経大図書館を利用して



小牧市 主婦
大内 曜子さん

私は空いている時間を有意義に過ごすため、市議会や県議会を傍聴し、また大学の公開講座を受講しています。名古屋経済大学の図書館が利用できることを知り、半年ほど前から車で通うようになりました。

この図書館は集中して読書、勉強ができる唯一の空間です。興味のある経済関

係、中でも独禁法の文献を調べたり、地方公聴会に発表する資料を作成したり、お陰様で成果を上げています。

私から見えて優れている点は、専門書が多く、しかも整然と並べられ、一度に五冊まで借りられること。新聞は経済紙、英字紙もあり、新刊雑誌も自由に閲覧できること。職員の皆さんが笑顔で接し、元気をもらえることです。

学生さんが夢と希望を失わずに大学生活を送られる環境だと思えます。オープンキャンパスの模擬講義で教わったこともあります。これからも大いに利用させてもらうつもりです。

内藤丈艸(犬山出身) 没後三百年記念シンポ

十一月八日に犬山市国際観光センターで、「内藤丈艸(ないとう・じょうそう)没後三〇〇年記念シンポジウム・講演会」が開かれました。本学の人文科学研究会・地域社会研究会・比較文化研究会が協力した催しです(司会は本学の高木史人助教授)。

犬山出身の内藤丈艸は松尾芭蕉の四哲の一人と言われた人物です。シンポジウムでは南台科技大学の伊藤龍平氏が丈艸の伝承が他と比較して少ない理由を「隠者」だからと説を提起し、早稲田大学の篠崎美生子氏が近代文学に丈艸がしばしば登場する理由を利欲に背を向けて生きる丈艸像に市井の民が共感する人物として造型されたからだと言及しました。

講演では名古屋大学の塩村耕氏が「艶(やさ)隠者」の井原西鶴、「俳隠者」の松尾芭蕉に対して、丈艸こそが隠者の中の隠者すなわち「真隠者」だったと論じました。多くの市民が参加して熱心にメモをとっていました。

韓国・耽羅大学と学術協定 三カ国目、今春調印へ



右が鈴木副学長

ベトナム、中国に続いて、韓国との学術交流を進める計画は、早くから本学の国際交流委員会に出されています。このたび、韓国の耽羅大学との交流の話し合いを持つことができました。

木副学長、丸山経営学部長、安孝錫助教授が済州島に渡り、耽羅大学の高長権総長をはじめ、代表理事、教務処長、事務処長ら幹部数名と協議しました。中国・東北大学との交流に関する協定文と基本的に同じ内容で合意に達しました。通訳は国際学部日語日本語専攻の金恩希助教授と安助教授が交互に担当しました。

三月末、高総長が本学を表敬訪問され、正式に調印する運びになっています。耽羅大学は社会学部、国際学部、観光学部、警察行政学部、レジャー体育学部、建設都市工学部、情報出版メディア学部の七学部を設置。キャンパスは高台にあり、海が見渡せる素晴らしい環境です。訪問中の三日間は晴天に恵まれ、快適な旅でした。

副学長 鈴木 正

f r o m C a m b o d i a

カンボジアだより

本学教員が海外の大学・研究機関で専門分野の研究に専念することを目的とする「在外研究」の制度を利用して、本年度後期からカンボジアに滞在中の四本健二助教授（法学部・アジア法）に近況を聞きました。（編集委員会）

カンボジアは、東南アジアのインドシナ半島に位置し、十二世

法学部助教授 四本 健二

紀にはアンコール王朝が一大帝国を築いたものの、その後は隣国に領土を蚕食され、十九世紀以後はフランスの植民地となりました。独立後も永年にわたる内戦を経験し、一九九二年ようやく和平が成立、国連による暫定統治を経て、現在は法律や司法制度を含む国家の再建が進められています。

私自身は、援助機関の職員（当時）として八八年に初めてカンボ

ジアを訪れて以来、この国の変化を見守ってきました。現在は王立経済法科大学に籍をおき、憲法の研究に従事しています。

和乎達成と新国家の樹立から十年を経た今日、カンボジアは急速な社会の変化の下で新たな問題に直面しています。

今回から四回にわたってカンボジアの法と社会をめぐる「今」を報告します。

TOEIC学内試験59人受験し、高得点

TOEIC（国際コミュニケーション英語能力テスト）の第四回学内試験が昨年十一月二十二日（土）に7号館で行われ、本学学生59人が受験しました。

昨年の23人を大幅に上回る受験者数で、一年生42人、二年生5人、三年生11人、四年生1人で高得点者も大幅に増えました。平成十五年度に開設され



た「英語教育センター」（本誌7号に特集記事掲載）は、就職活動を優位に進めるために積極的に受験しようと呼びかけています。

なお、同センター開設記念講演会「使える英語の効果的学習法・指導法」が十二月十九（金）に名古屋ガーデンパレスで開かれました。講師の千田潤一氏はベストセラー「英語・ぜったい・音読」シリーズの著者で、当日は盛況のうちに終わりました。

英語教育センター 川津雅江

企業法制研究所の公開講演会 「イラク戦争」住基ネット

十月二十四日、名鉄ニューグランドホテルで、「企業法の現代的課題」と題する第十三回公開講演会が開かれました。本学法学部の宮崎孝教授が国際法と日本の外交について、イラク戦争までのわが国の対応を素材に取り上げました。

また、中央大学法学部の堀部政男教授は個人情報保護法と住民基本台帳ネットワークシステムについて、立法の背景などを交えながら説きました。一般にとっても身近な問題であったため熱心に質問する市民の姿が印象的でした。

高校で教えています 卒業生近況

葛藤の日々……

でも天職ですね

経済学部OG
梅村鶴実さん



卒業生の近況を毎号掲載していますが、今回は経済学部OG梅村鶴実さんに書いてもらいました。学校務めの日々、葛藤のなかで天職の思いを新たにしているようです。懐かしいゼミの教授のエピソードにもふれていきます。

何からお話したらいいのでしょうか。一九八三年三月に卒業いたしました。同窓会役員の末席を汚しているおかげで、学び舎に赴く機会には人よりは多いと思います。在学当時からずいぶんハード面もソフト面も変わり、その変化の速さにびっくりしております。

在学していた頃は経済学部だけの女子大学でした。当時の教授に、「愛知県の経済学部に通う女子学生を全部集めて二百人程度なのに、この学校一つで定員二百名とは、すごい大学だろう?」といわれ、実際に女子の入学者が徐々に減ってきたことを目の当たりにした時、一抹の不安を持ったものでした。

教員免許が取得できる大学ばかり受験し、名経で必然というか、運命というか、四年間お世話になりました。音符も読めない私を友人は「軽音楽部」に誘い、自治会にも名を連ね、図書館のアルバイトもさせていたなど、思い出がたくさんできたことは幸せなことでした。アットホームな大学での多くの出会いを、本当に感謝しております。

現在、岐阜県瑞浪市の「中京高等学校」で、商業科・情報科の教員として奉職させていただいております。

現在、岐阜県瑞浪市の「中京高等学校」で、商業科・情報科の教員として奉職させていただいております。

めいけい点描

十、十一、十二

近ごろ、警察には芳しい話題がない。そこへ飛び込んだのは「一年生警官 早くもお手柄」という見出しの中日新聞（岐阜・近郊区）のトップニュースでした。

ります。その仕事は、「下りのエスカレーターで上るが如し」であり、ちよつと足を止めればすぐ下がってしまうくらい気が抜けないものです。

また、生徒の資質、親の資質は変化・多様化しており、クラス運営も一筋縄ではいきません。「この仕事は私には向かん、やめようか……」と葛藤する日々の何と多いことでしょうか。しかし、「ああ私ですごい、先生の仕事は天職だわ」と思えることがあって、それだんとか続けていられるというのが本音です。

卒業時のゼミの教授が、今は亡き名和献三先生でした。先生は自らの名前の由来を、「私の名前は、私を」とに捧げるという意味で父が付けた」と教えてくださいました。何に捧げるといふ部分

各務原署に配属されて三日目の片桐怜帥巡査（二十三歳）が初の当直勤務についた、その深夜、喫茶店のドアを壊して侵入した窃盗犯を取り押さえた、ということです。

片桐巡査は昨春、名古屋経済大学法学部を卒業しました。高校、大学を通じてラグビー部で鍛えた体力を生かせる仕事があったので

をすっかり忘れてしまいました。今、私は何に貢献できているだろうかと自問してみると、自信のある答えが見つかりません。恩師にきちんと報告できるよう、精進しようと思っております。

プロフィール Profile

一九八三年三月 名古屋経済大学経済学部消費経済学科卒業
同四月 中京高等学校商業科教諭として勤務
二〇〇一年八月 教員「情報」免許取得
二〇〇二年四月 中京高等学校商業科主任（現職）
茶道部顧問

平成十六年度 学生自治会執行委員 短期大学部

委員長	栗林千明	書記	洪 玉依
副委員長	原田有希子	会計	吉野晃世
同	安達美香	同	熊谷寛子

警察に入ったそうです。記事によると、彼は「弱い人を助け、巨悪を追及する刑事になりたい」と抱負を語っています。

「名経大通信」6号に卒業生インタビューを特集しましたが、片桐さんはそこで紹介された一人です。後輩に朗報をくださった、ありがと。

本学の先生たちの著書です

「財閥と帝国主義」 三井物産と中国

坂本雅子(経済学部教授)著

「ミネルヴァ書房」



本書は、戦前日本の中国進出と侵略をとりあげ、戦争と大企業の関係を説明しようとしたものである。つまり、戦争や侵略を、経済的な支配圏拡大を求める企業活動を中心に、それを補完する政治支配や対抗する民族運動との関連で捉えることを目的とした。これは私の永年の研究テーマであるが、同時に今また世界が「戦争の時代」に入ったのではないかという強い危惧と、それに抗したいとの思いもある。

具体的には、三井財閥の本格的な企業である三井物産の活動を中心にとりあげた。同社は戦前日本の貿易総額の二〇%を独占した巨大商社で、日本最大の企業であり、

明治以来、対中国貿易と資本輸出の中心的な担い手であった。それだけではなく、軍部と一体となって戦争を戦い、武器輸出、アヘン売買、密貿易、占領地での食糧収奪にも暗躍した中国進出・侵略の最大の担い手だったからである。

本書では国内・外の資料を発掘し、事実によって戦争と財閥に関する従来の通説を覆すことを目指したが、それはまた闇に隠されていた歴史の暗部を数多く明るみに出すことになった。

本書の出版後、研究者からだけでなく、幅広い読者からの大きな反響があったが、東京都の見知らぬ方からいただいた「納得できる本に出会えてうれしいです。戦争の恐ろしさが、戦記よりも逆に際立つて見えてきました。戦後これほど経たないと、このような本が出てこないものかとも思いました」というお便りは、とりわけうれいものであった。

なお本書の研究・出版には文部科学省科学研究費補助金(基盤研究費C)、日本学術振興会科学研究費補助金(研究成果公開促進費)を受けた。(四二四ページ)

「イギリス・ロマン派とフランス革命」

ブレイク、ワーズワス、コールリッジと一七九〇年代の革命論争

安藤潔(短期大学部教授)著

「桐原書店」



フランス革命の時代には、隣国の英国で急進的な革命支持者と政府系反革命派の間で激しい論争がなされた。そこにはE・パークやT・ペインらの、後の時代に大きな影響を与えた著作も生まれた。本書はこの英国でのフランス革命論争の歴史的、政治的、社会的、宗教思想的な流れの中に英国ロマン派の前期大詩人たちを位置付けることを趣旨としている。

第一部では、W・ブレイクの初期から中期の作品に見られる革命的な主題を検討している。第二部ではワーズワスが『序曲』に描いた革命体験とその思いを解明している。詩人が若き日に出版を果たさなかった急進的散文を考察した章は、類が少なく珍しい研究である。

コールリッジを扱った第三部では、彼の二十代の詩と、散文による政治、宗教論文や講演、定期刊行物の試みを追い、新歴史主義も絡めてその本質を究明している。

三人とも当初は革命の理想に陶醉し、急進的立場を取るが、過激化したフランスは共和制を施行、国王処刑、英国と開戦と続き、覇権主義的侵略が始まる。この動向に幻滅した詩人たちは急進的立場を改め、それぞれの内的世界に沈潜し、真の文学作品創造に向かう。しかし彼らの心の底には、革命への憧れと希望がなおも残っていた。十九世紀以降の西洋文学の多くは、これと同類の方向に進む。

「英国ロマン派とフランス革命」とは、古くて新しい主題であり、平凡ながら、これまでのわが国には本格的な研究がほとんどなく、その面からすでに本書に対する評価の聲が挙っている。

この出版は(博士「文学」)授与の付帯条件とされた公刊で、各章は著者が本学の『人文科学論集』や、その他の学術雑誌に発表した論文をもとにしており、その期間は二十年以上にわたっている。(三九五ページ)

多彩な地域講座 短大部の先生が活躍

犬山市「わくわく連続講座」が犬山国際観光センターで行われ、本学短期大学の先生たちも参加しました。四回目（昨年九月）に吉田啓子先生が「ジェンダーから男女共同参画へ」専業主婦の時代は終わった？、五回目（十月）には千田百合子先生が「民族衣装からファッションを学ぶ」雷龍の国ブータンの事例から」をテーマに講座を担当しました。

十月十一、十二日に開かれた犬山市消費生活展（南部公民館）のテーマは「豊かな暮らしをめざす今」。キーワードは「健康」で、短大部生活文化学科の食物栄養担当



者全員が参加しました。「環境にやさしく、安全な食べ物を食べて豊かな食生活に 地産地消」と題する調理実習、「自分の食生活を見直そう」をテーマにしたアンケート

や骨密度・体脂肪・血圧の測定とともに、生活習慣病予防の栄養指導を行いました。

続いて十二月には犬山市消費生活講座が行われ、光松佐和子先生が「暮らしに役立つファッション商品知識」、松井元子先生が「手作り豊かな食生活 生活の質（QOL）の向上をめざして」、島田裕子先生が「住まいと環境 健康的に暮らすために」と題する講座を担当しました。

また、丹羽郡大口町では十一月二十二日の社会教育講座女性セミナーに千田百合子先生（写真の中央）が講師を務め、海外の衣装を示し「異文化から学ぶ衣文化」について語り、親しめる学習になりました。

学生らの心の健康を考える

「大学生委員会」（榎原秀訓委員長）は、さまざまな問題や悩みを抱える学生が増えていることに照らし、教員を対象にした「メンタルヘルス講演会」を昨年十一月、本館講堂で開催しました。

学生相談室の野副カウゼラーから学生相談の内容、傾向について報告され、他大学

硬式野球部、完全優勝 2部リーグへ復帰

名古屋経済大学硬式野球部は愛知大学野球の二〇〇三年秋季リーグ戦3部で次の通り完全優勝しました。

名経大18 0名外大
名経大4 3名外大
名経大2 1愛教大
名経大1 3愛教大
名経大4 1愛教大
名経大12 1大同大
名経大13 0大同大
名経大5 4日福大
名経大5 2日福大
名経大3 2愛泉大
名経大8 5愛泉大
(2、3部入替え戦)
名経大8 3愛産大
名経大6 1愛産大
この結果、二〇〇四年春季リーグの2部昇格が決まりました。2部復帰は一シーズンぶりです。

の先生からも最近の特徴と対応を語ってもらいました。学生に対する適切な助言や指導の必要性が個々の教員に求められており、職員を含め百人以上が講演に耳を傾けました。
(本誌の次号でメンタルヘルスに関して詳しく伝える予定です)

平成16年度 入学試験要項

名古屋経済大学

設置学部・学科：経済学部 / 現代経済学科 経営学部 / 経営学科 法学部 / 法学科

出願期間・試験日・発表日

区分	出願期間(最終日消印有効)	試験日	合格発表日
学力試験	A日程 1月13日(火)~ 1月27日(火)	自由選択 試験日 2月1日(日) 2月2日(月) 2月7日(土) 2月8日(日)	2月 5日(木)
	B日程 1月13日(火)~ 2月 2日(月)		2月11日(祝)
	期 2月12日(木)~ 2月19日(木)	2月24日(火)	2月26日(木)
センター 利用試験	前期 1月13日(火)~ 2月 2日(月)	本学独自の 個別試験は 実施しません。	2月11日(祝)
	後期 2月23日(月)~ 3月 8日(月)		3月13日(土)

印:学力 期試験は、学外試験場でも実施します。

学外試験場(学力 期)		
	A 日程	B 日程
栄	2月1日(日)2日(月)	2月7日(土)8日(日)
浜松	2月1日(日)2日(月)	—
津	2月1日(日)	—
金沢	2月1日(日)	—

名古屋経済大学短期大学部

設置学科：現代コミュニケーション学科 / 商経科 / 生活文化学科(生活文化専攻・食物栄養専攻) / 保育科

出願期間・試験日・発表日

区分	出願期間(最終日消印有効)	試験日	合格発表日
学力試験	A日程 1月13日(火)~ 1月27日(火)	自由選択 試験日 2月1日(日) 2月2日(月)	2月 5日(木)
	B日程 1月13日(火)~ 2月 2日(月)		2月11日(祝)
	期 2月12日(木)~ 2月19日(木)	2月24日(火)	2月26日(木)
センター 利用試験	前期 1月13日(火)~ 2月 2日(月)	本学独自の 個別試験は 実施しません。	2月11日(祝)
	後期 2月23日(月)~ 3月 8日(月)		3月13日(土)

印:学力 期試験は、学外試験場でも実施します。

学外試験場(学力 期)		
	A 日程	B 日程
栄	2月1日(日)2日(月)	2月7日(土)
浜松	2月1日(日)2日(月)	—

